



IPv6 による自動販売機商品管理システム

街中にある自動販売機に IPv6 アドレスを割り当てることにより、リアルタイムでの在庫管理や、これまでよりさらに細かいマーケティングが行える。

- ② 商品が購入されると IPv6 ネットワークを通し、中央サーバへ情報を送信する。これにより、品薄商品のチェックなどが行える。
- ② また、リアルタイムで商品の購入情報が得られるので、時間や曜日などから売れ行き商品のトレンドを割り出し、マーケティングに使用することも可能である。

IPv6による自動販売機商品管理システムのイメージ

自動販売機は膨大な端末数のためIPv6のネットワーク構築・維持管理の容易さに大きなメリットがある。

特に缶・飲料水自販機は、災害発生時は被災者に飲料水を無料配給可能とする「災害時用自動販売機（フリーバンド機能付き）」として働き、メッセージボードにより、一斉に災害情報を流すことにより地域に貢献できるネットワークを構築できる。

